平成29年11月号
Vol.75（通算244号）
平成29年11月発刊

ご縁をいただいたあなたにお届けします。

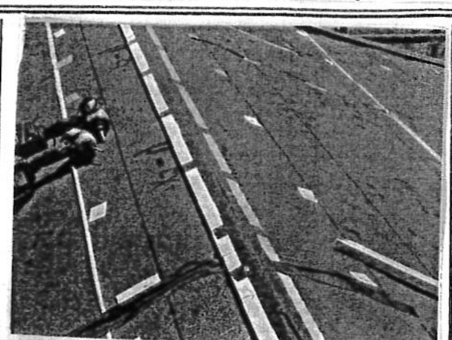
一期一会新聞

「親子3代のおつき合いをするため 質にこだわります。」

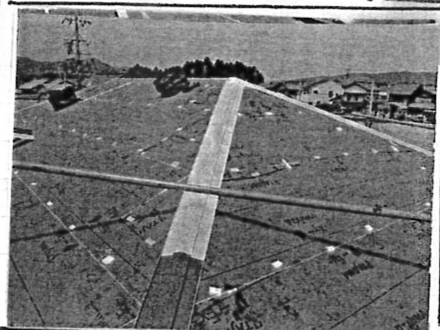
〜出会いに感謝、あなたの家族が笑顔になりますように〜

朝夕は寒気がひとしお身にしみるようになりました。お元気でいらっしゃいますか。右側に父の写真を掲せました。10月2日に亡くなりました。今まで父の会社を継続してきましたが引き続きご愛顧くださりますよう、よろしくお願いします。

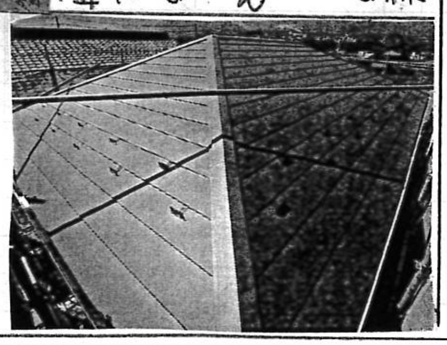
※石取と野球が好きの父でした。元気いっぱいの人だった！



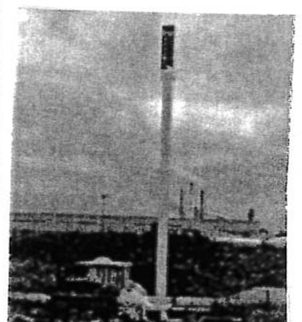
スレート屋根をオリバークリーンを塗布して高圧洗浄後防水シートを張ってから棟包みの下地を取付ています。その後に防水テープを張っているのが写真の様子ですね。



棟包みの両側を棟の5ヶ所に取付ていきます。その後はスーパーガルベスト本体を取付していきます。もちろん今回は場所は北勢町なので雪止めも取付ました。1Fの屋根も同様に。塗膜15年 赤さび20年の保証です。これで安心です。スーパーガルベスト工事完成です。スレート瓦の約1/4の軽さで出来ます。粘土瓦の約1/10の重さ5もくらいです。耐震性がある訳ではありませんが家には負担は少ない。ウレタンフォームで防音を軽くします。

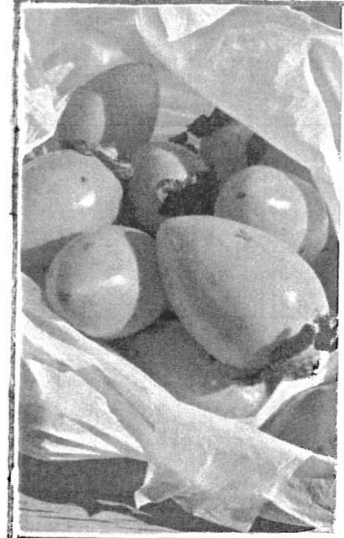


※2度と起こしたくない災害です。



研修で宮城県の石巻、仙台に行ってきました。3.11大震災の起きた町です。上は6.9Mまで水がきていたという記念碑まわりはきれいに整地されたとうそうです。6年たちましたがようやく土がもられて一、二棟建物が建設されたとそうです。しかし、水も電気も通っていませんでした。写真の建物は仙台空港近くに1軒だけ残る建物です。家主は助かったそうですが1Fは柱のみです。

渋柿を頂いたのですが…



先日、家に帰ると友人が渋柿を届けてくれていた。けれど、どうやって干し柿にすればいいのかわからず、ネットで調べてみると、皮をむいたあと熱湯に10秒程つけ、そのあと干すのだそう。干す前に焼酎に漬ける場合もあるそうです。

どちらにしろ、お天気が良く、乾燥する季節になってからじゃないとカビが生えるそうです。果たしておいしくできるのでしょうか。

11月といえば

11月といえば、私の誕生月。子どもの頃は待ち遠しかったけれど、年を追うことに楽しい、とは思えなくなって。単純に年を取るって体はあちこちガタがくるし、シワやシミは増えるし…。正直いいことなんてないと思っていましたが、最近は一年一年感謝の気持ちがわいてきました。

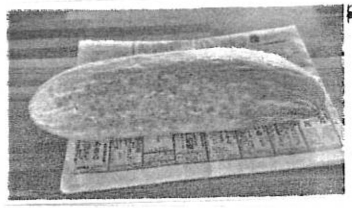
今年一年ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

前号登場のかぼちゃの正体は…

前号ご紹介した名前のわからない長細いカボチャですが、その正体がわかりました。飛騨野菜の一つで昔から各家庭で食べられていたカボチャだそうです。

名前は「宿儺（すくな）かぼちゃ」というそうです。2001年頃、飛騨地方の名産を、ということでめでたくおひろめ、ということになったようです！

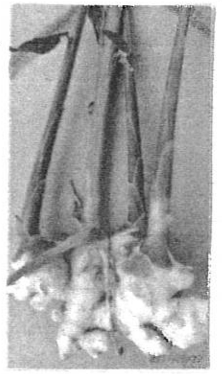
今月の料理はカボチャプリンです。ぜひ、おためし下さい。



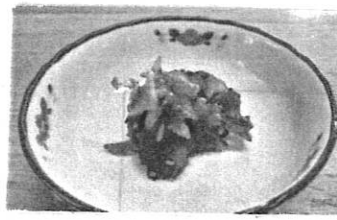
新生姜で新レシピに挑戦

実家の父から毎年、新しょうがをもらいます。いつもしそ漬けや甘酢漬けを作っていましたが、今年はジンジャーシロップに挑戦しました。またまたネットで検索してみました。作り方は意外と簡単。スライスしたしょうがに砂糖をまぶしてしばらく置き、水が出てきたら、火にかけ、30分程煮て、常温に冷ましたら出来上がり。こして残ったしょうがは、しょうゆとかつお節でつくだ煮にしたり、冷凍して、しょうが焼や煮魚を作る時に重宝します。

ジンジャーエール←

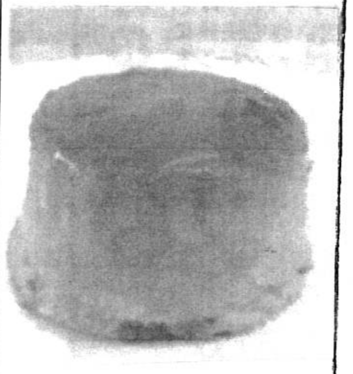


新しょうが→



←しょうがのつくだ煮。ごはんがすすみます！

濃厚かぼちゃプリン



材料 ココット6個分

宿儺かぼちゃ（栗カボチャでも）…1/2個（皮、綿を除いて200g）
砂糖…40g
卵…2個
牛乳…200cc
バニラエッセンス…適量
■カラメルソース■
砂糖…75g
水…大さじ4
熱湯…大さじ4

作り方

① ■カラメルソース■ 小鍋に砂糖と水を入れて強火で熱する。色が変わってきたら火を弱めて、カラメル色に煮詰める。熱湯を加えて（はねるので注意！）のばす。型に均等に流す
② かぼちゃは皮を切り、小さめに切ってラップをしてレンジで5分チンして柔らかくする
③ オーブン170度、30分に余熱開始。天板用のお湯を沸かす
④ ミキサーに②のかぼちゃ、砂糖、卵、牛乳、バニラエッセンスを入れてよく混ぜる
⑤ きめのボウルに移し、型に流す ④の卵液をザルでこしながら大
⑥ 天板に型をのせ、お湯を高さ半分程度まで注ぎ、オーブン170度で30分焼く。
⑦ 人肌に冷めたら冷蔵庫で冷やして出来上がり

血液型 RH＋A型（娘18才1人）長女4月より大学生
小学生の頃はとにかく虫好き 蝉とトンボ採りであけくれる
ソフトボールでは地区大会出場
社会人、学生の頃はスキー、バイク三昧。オフロードバイクでは耐久レースにも出場。

リフォームは手段であり目的は家族の明るい会話を増やす。安心して家族が快適に暮らせる。自分だと思います。お客様の喜びは自分の喜び 笑顔家族をつくる

発行人：リフォームラボ ITONEN
伊藤彰英（いとうあきひで）
〒511-0836：桑名市江場508の2
生年月日：昭和38年11月17日
営業時間：8:00〜18:00
定休日：水曜（急ぎは相談下さい）
趣味：美しいもの鑑賞（例：絵、写真、車など）、バイク（スキー）一番は仕事
経歴：日進小、陽和中、桑名西高（陸上部でした）
（リフォーム工事30年以上です）東海工業専門学校 建築研究科卒（この時建築士に）

URL：ITONENで検索
HP：080-4154-6813
TEL：0120-975-731
FAX：0594-73-1779
Mail：info@itonen.jp